

1. 基本情報（令和5年3月31日現在）

人口	119,599人	保護率	1.11%
----	----------	-----	-------

2. 支援状況（令和3年度）

新規相談受付件数（人口10万人当たり）	22.1/月				
プラン作成件数（人口10万人当たり）	0.82/月				
就労支援対象者数（人口10万人当たり）	0.75/月				
就労・増収率（%）新規を分母にして	15.2%				
任意事業等の実施状況（令和5年度（予定））					
支援会議	就労準備	家計改善	シェルター	地域居住	子ども
×	○	×	×	×	○

3. 事業の概要等（令和4年度）

実施方法	<ul style="list-style-type: none"> 委託（鶴岡市社会福祉協議会） 自立相談支援事業・就労準備支援事業を同一の事業者へ委託し、一体的に実施
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> 就労準備支援担当者2名を配置。 地元商店街振興組合所有のスタジオ一室を借り入れ事業を実施。 商店街の美化活動や行事準備などにも参加し、地域交流も視野に入れた活動を行っている。
事業費	8,20千円
その他特記事項	<ul style="list-style-type: none"> 地元企業の理解・協力を得て賃金をいただけるような活動を実施。 合併市であり、旧町村からの移動に課題がある。

4. 事業の立ち上げプロセス

開始前

- ・自立相談支援機関で相談を受けるケースの中で、支援を継続しても一般就労につなぐことができない場合があり、就労準備事業が必要であると自治体・自立相談支援機関と協議し、事業実施を決定。

立ち上げ 【3ヶ月前】

- ・社会福祉協議会が不定期に実施しているボランティア活動（通称「ちょボラ場」）（居場所支援）の利用者を想定し事業参加した場合の流れ、実施プログラム等を検討。
- ・関係機関からの聞き取り調査を実施。
- ・人口規模に近い社会福祉協議会や事業展開しているところからの聞き取りを実施。

商店街振興会 との打ち合わせ 【2ヶ月前】

- ・委託検討先の社会福祉協議会と商店街へ事業説明。当初就労していない人が商店街にいるなど悪いイメージがつくことを心配されたが、事業内容を理解していただき、契約可能となる。

委託先との 調整

- ・委託先の鶴岡市社会福祉協議会の担当者と自治体の担当者が同時に事業開始年度に異動になってしまい、事業開始の体制が整うまで2カ月ほど時間がかかってしまった。

平成31年6月 事業開始

事業実施

- ・実績：利用者12名、就職者7名、就労支援へ繋いだ者：7名
事業実施回数208回、就労体験延べ参加人数540人（令和3年度）
- ・プログラム活動を通して、人とのつながり、社会とのつながりの構築を目指した支援を実施しています。